

日本共産党の竹田えつ子です

こんにちははニュース 議会報告

No.153 2021年10月第1週



くらしのご相談事
いつでもお声かけ
ください。

政権交代の推進力 = 日本共産党の躍進を

衆議院選挙は
10月19日公示
31日投開票

「コロナ対策での無為無策、森加計・桜を見る会の疑惑隠し、原発再稼働、軍拡・改憲など戦後最悪の「安倍・菅政治」がようやく終わったと思つたら、何から何まで「安倍・菅直系」の岸田新政権が発足しました。「安倍・菅政治」を終わらせるには、今度の衆議院選挙で政権交代しなくてはなりません。憲法に基づく当たり前の政治・立憲主義を取り戻し、希望の持てる政治へと切りかえる時です。市民と野党の共闘は、政権協力でも共通政策でも自公政治を変える展望を示しました。市民と野党の共闘、その推進力として日本共産党を大きく躍進させてください。

新型コロナ対策

緊急事態宣言が解除されましただ。感染者急減の理由は明確に分かっていません。人の流れや街の活気が戻りつつあります。こうした中で、日本共産党の志位委員長は9月29日「今大切なことは、感染拡大の『第6波』を起こさないための対策に全力をあげると同時に、『第6波』が起きた場合の備えをしつかりとすることだ」と指摘。「これまでそうした対策と備えが感染者数が減少した時期にやられなかったことで、次の感染拡大の波を繰り返し、たくさんの人命が損なわれてきた。今度こそしっかりとやる必要がある」として、①医療体制と保健所体制の抜本的な強化②ワクチン接種と一体の大規模検査③十分な補償の三つが必要だと強調しました。

10月4日現在の鴻巣市の新型コロナワクチン接種状況 (12歳以上)

対象者	108,620人	
1回目接種	66,978人	61.7%
2回目接種	63,516人	58.5%



陽性確認者の状況

(2021年9月30日現在) 鴻巣保健所からの情報

現在の患者数	現在の患者数の内訳			
	入院中	宿泊療養	自宅待機	入院調整中
20人	14人	2人	4人	0人



9月議会会より

「米作って飯食えぬ！」

米農家の声届かず

実りの秋ですが、米農家の声届かず。コロナ禍で昨年に続いて米価暴落で農家の方が悲鳴を上げています。米は日本の主食です。9月議会

意見書の項目

1. 過剰在庫を政府が買い取り、市場から隔離すること
2. 買い取った米を生活困窮・学生・子ども食堂などへ大規模に供給すること
3. 転作補助金の大幅拡充をすること
4. 農業者戸別所得補償制度を復活すること

日本共産党の提出した意見書に対し、反対理由も述べず、鴻巣会・こののす自民・公明党・かいえんたいの議員は否決しました。



新たなごみ処理施設の整備は、情報公開と住民参加で進めることを要望

竹田えつ子も会員の一人である「ごみ処理施設問題を考える会」は、10月4日、鴻巣市・北本市・吉見町の首長に対し、「新たなごみ処理施設の整備に関する要望書」を提出、懇談を申し入れました。その結果、10月5日吉見町長と、10月6日は北本市長と懇談をすることになりました。鴻巣市は、市長政策室長と環境経済部長が対応することになりました。(要望内容は下記のとおりです)

新たなごみ処理施設の整備に関する要望書

ごみ処理施設問題を考える会

平素より市民の暮らし・福祉・環境を守るため、市政の推進に尽力されている貴職に敬意を表します。

9月16日、鴻巣市・北本市・吉見町で、新たなごみ処理施設の整備に関する基本合意書が締結されました。この合意書で、「施設の建設予定地は、鴻巣市の郷地安養寺地内とする。」とされました。

前回、鴻巣・行田・北本による新ごみ処理施設の建設計画が白紙となった時、私たちは、建設予定地についても、新たな枠組みのもとで、最初から決めなおすものと考えていました。しかし、そのような検討が行われた形跡もなく、同じ場所で合意書を締結しています。

合意書の第4項で、「本合意書に定めのない事項及び本合意事項に疑義が生じたときは、鴻巣市、北本市、吉見市で協議のうえ、決定するものとする。」とあります。そこで、私たちは市民として、いくつかの「疑義」がありますので、以下の事項についての要望書を提出します。今後、市長さん(町長さん)との話し合いの場を設けていただければ幸いです。

要望事項

- 1 合意書を取り交わす前に、建設地について2市1町で検討したのでしょうか？検討したのであれば、検討の経過と内容について明らかにしてください。
- 2 検討してないのであれば、「郷地安養寺」という地域名を入れた合意書に賛同した理由をご説明ください。
- 3 合意書では「建設予定地」となっていますが、「予定」が「決定」になるまでに、今後どのような検討や協議をおこなう計画でいるか、お知らせください。
- 4 郷地安養寺にした場合、建設予定地にかかわる必要経費(用地取得費、造成費、周辺整備費、温浴施設、上下水道建設の費用)は、鴻巣、行田、北本の3市の環境資源組合で策定した計画書をそのまま利用するのか、それともゼロからの再検討をするのか、お聞かせください。
- 5 懸念される洪水時の浸水防止対策はどのようなものか、市民が安心できる具体案を、資料をそえて明らかにして下さい。
- 6 地球温暖化が要因となり、気候危機とまで言われています。そのため、新しいごみ処理施設は脱炭素社会を見据えてリサイクルを推進し、極力燃やさない施設になるよう進めることを求めます。
- 7、ごみ処理施設の建設費は莫大な予算を必要とし、市民の大きな負担となります。建設を始める前に、計画、工程、予算などの建設に関わる全てを議会と市民に情報公開し、定期的に報告、対話の場を持つことを求めます。